

## 令和7年度第2回牧場運営委員会会議録

### 1 日 時

令和8年2月26日(木) 10:00～10:45

### 2 場 所

幕別町役場2階 2-A B会議室

### 3 出席者

出席者7人 多田委員長、松岡委員、中村委員、竹林委員、佐瀬委員、西川委員、  
草深委員

※欠席5人 山田委員、西部委員、田中委員、川口委員、大平委員

事務局 高橋経済部長、鯨岡総合支所長、遠藤農林課長、吉仲経済建設課長、  
堀牧場係長、児玉

### 4 内 容

高橋経済部長の進行で開催、委員長の挨拶後、報告事項からは多田委員長が進行。

#### (1) 報告事項

報告第1号 令和7年度入牧状況について

報告第2号 令和7年度収支状況について

報告第3号 令和7年度入牧牛の疾病対策について

報告第4号 令和7年度入牧牛の疾病発生状況について

報告第5号 令和7年度入牧牛受胎・授精卵移植状況について

報告第6号 町営牧場の在り方に関するアンケート調査の実施結果について

報告第1号から第6号まで一括して場長が報告。

#### 【質疑等】

竹林委員：報告第6号の設問2、南勢牧場の今後の新規利用が3件となっているが、設問3の5年後、10年後の利用頭数が横ばいとなっているのはなぜか。

児玉場長：新規3件の内訳は、1件が5年後及び10年後の預託頭数が10頭と回答しており、1件は利用予定と回答しているが、5年後、10年後の預託頭数は未回答となっている。残りの1件については、自家農場の草地更新時に代替として町営牧場の利用を考えているとの回答のため、継続的な利用は1件で預託頭数は10頭となっている。

多田委員長：報告第4号の疾病の発生状況について、晩成牧場に比べ南勢牧場

のピンクアイの発生が多いのはなぜか。

草深委員：大樹町の湧洞牧場でもピンクアイは発生しているが、南勢牧場の入牧頭数に対してピンクアイの発生件数は普通で、逆に晩成でのピンクアイの発生が無さすぎる。

松岡委員：今回のアンケートの結果を踏まえて今後の牧場の在り方を内部で協議するのか。

児玉場長：現在、内部で協議を進めているので、次回の会議に案を示して委員の皆さんにお諮りしたいと考えている。

中村委員：アンケートの設問1で町営牧場を知らない方が1人いるが周知は十分なのか。

児玉場長：回答者53件のうち1件なので、十分周知されていると認識している。

佐瀬委員：報告第2号の委託料で予算に比べ400万くらい支出が少ないが、何かやらなかったからなのか。

児玉場長：道営の草地更新に伴う掃除刈りの委託料を計上していたが、令和7年度は対象が共栄牧場のみだったので、お盆明けに播種をお願いして、掃除刈りをしなくても済むよう時期を調整した。また、傾斜が少ない箇所については、牧場の作業員が直営で掃除刈りを行ったので委託料の支出がなくなった。

草深委員：アンケートの設問7にある意見もそうだが、町営牧場については、利用者の意見を優先して運営を行っていただければと思います。

児玉場長：承知しました。

竹林委員：アンケートでは、預託頭数が5年後、10年後で増加しているが、町営牧場でその数を預かれるのか。

児玉場長：預託頭数の増加は忠類地区が対象となっている。晩成牧場の関係もあり、町営牧場の今後の運営方針を作成し、次回の会議で示したい。

## (2) 協議事項

協議第1号 令和8年度町営牧場運営計画について

令和8年度の入牧頭数見込み、預託期間、ワクチン接種、町営牧場作業員の配置体制について場長が説明。

【質疑等】

竹林委員：南勢牧場の今後の利用頭数が400頭程度となっており、今後増加する忠類地区の牛を南勢牧場に入れるのであれば、南勢の授精は幕別町農協で行っているのので、事前に入牧する牛の畜主などの情報を教えてほしい。

児玉場長：南勢牧場に幕別町農協組合員以外の牛を入れるのであれば事前に相談する。

多田委員長：令和8年の牧場作業員は確保できているのか。

児玉場長：忠類地区の6人は決定しているが、南勢牧場はパートタイムが1人不足しているので現在募集を行っている。今日時点での申し込みが1名となっている。

協議第2号 令和8年度町営牧場収支予算案について

令和8年度の町営牧場収支予算案について場長が説明。

【質疑等】

中村委員：歳入の合計額が歳出の人件費より少ない。

児玉場長：牧場作業員は町の会計年度任用職員として任用しており、国の人事院勧告に基づき給与を決定しているが、令和6年と7年に給与増の勧告がされており、人件費が増加している。

草深委員：南勢の入牧見込み頭数が500頭となっているが、先ほどのアンケートから100頭増えているのはなぜか。

児玉場長：予算なので、急な増加などの計画変更等に対応するため、ある程度の予備分を含め計上している。

中村委員：酪農家のおかれる状況は厳しいため、町営牧場は赤字だが、今後も預託頭数は増加するのであれば預かれる環境を維持・継続するのが一番重要と考える。

多田委員長：私も町営牧場の利用者なので、今後も事務方の皆さんに頑張って続けてもらいたい。

(3) その他

多田委員長：晩成牧場について何か情報提供できることはないか。

児玉場長：晩成牧場については、会議でお話できるような具体的な話はないが、昨年、スペースコタンから行政財産の使用許可申請があり、晩成牧場横の海岸に気象観測システムを設置するといったもので、あわせて、晩成牧場内の牧道沿いに気象観測機器への電力供給用に電柱、支柱及び支線87本を設置するものであります。工事は晩成牧場の下牧が完了した10月下旬から始まり、本年1月で完了しており、スペースコタンの社員が定期的に気象観測データの収集を行っております。

多田委員長：昔みたいに社員が現地に行って作業するといったことはないのでしょうか。

児玉場長：データの収集については、スペースコタンの社員が直接現地に行き、収集している。そのため、スペースコタンで牧道に砂利を入れ、除雪も行っている。

多田委員長：委員の任期と次期開催のスケジュールについて教えてほしい。

児玉場長：委員の皆さんの任期は令和8年5月31日となっているので、4月下旬以降、関係機関及び各農協から推薦をいただき、委員を決定する予定です。1回目の会議は6月の初旬を予定しております。

多田委員長：畜産祭りと重ならないよう、できれば畜産祭りが終わった直後に開催してほしい。

児玉場長：承知しました。そのように調整します。

竹林委員：アンケートの結果については、回答者にフィードバックするのか。

児玉場長：今回の会議結果とあわせて町のホームページに掲載を予定している。

以上